

「令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果について」

【富里南中学校】

令和3年5月27日（木）に、小学校第6学年全児童、中学校第3学年全生徒を対象として、「全国学力・学習状況調査」が実施されました。本校の結果についてお知らせします。

1 生徒が受けた調査について

「国語」、「数学」、「生徒に対する質問紙調査」の調査が実施されました。それぞれの内容は下記のとおりです。

教科に関する調査

- (1) ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

※出題範囲：原則として調査する学年の前学年までに含まれる指導事項

質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

*調査問題は「国立教育政策研究所」のHPで閲覧できます。

<http://www.nier.go.jp/21chousa/21chousa.htm>

2 本校生徒の調査結果

本校生徒の調査結果及び分析は以下のとおりです。

(1) 教科の正答率について [※ 全国公立中学校の平均正答率（以下全国平均）との比較]

国語	学習指導要領に示されている3領域1事項（「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」、〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕）に基づいて、その全体を視野に入れながら中心的に取り上げるものを精選して出題	C
数学	学習指導要領第2章第3節数学における、「数と式」、「図形」、「関数」、「資料の活用」の各領域に示された指導内容からバランスよく出題	C

☆ 全国平均正答率との比較について

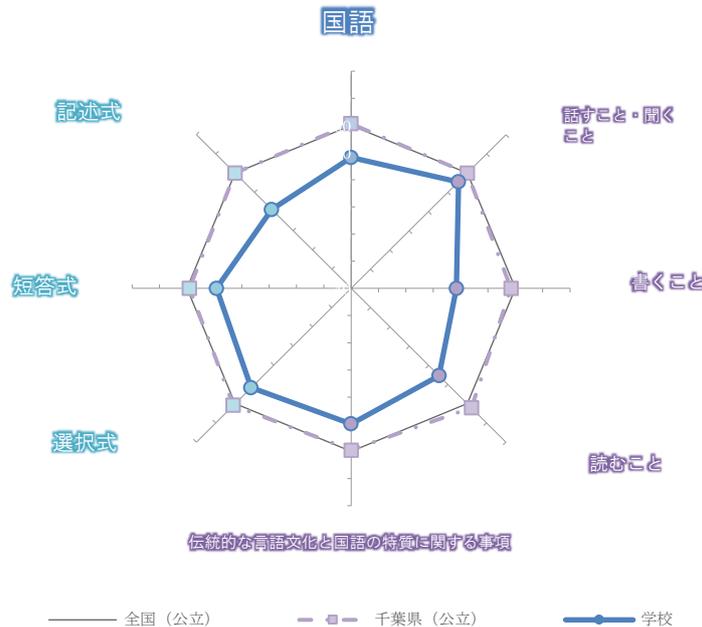
A：+5.0%より上回っている場合「良好」

B：+5.0%～-5.0%の場合「ほぼ同じ」

C：-5.0%より下回っている場合「要改善」

(2) 教科ごとの分析

国語



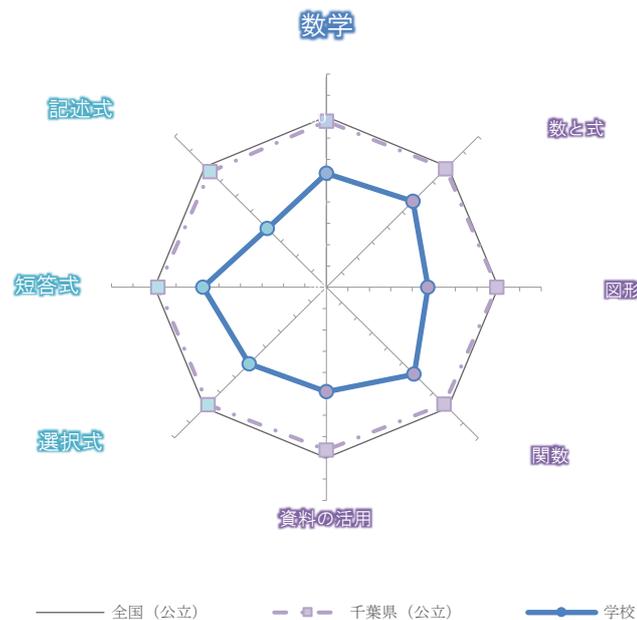
【特徴と現状】

- 「話すこと・聞くこと」については全国平均に近い正答率でしたが、その他は下回っていました。
- 「書くこと」の「意見文の下書きの構成について、自分の考えを書く」問題では、全国平均を大きく下回りました。工夫された点を読み取り、条件を満たして自分の考えを表現することに課題があります。
- 漢字の読み方を答える問題では、比較的正答率は高かったが、無解答が一定数いるという課題がありました。
- 「話し合いでの発言について説明したものとして適切なものを選択する」問題では、全国平均を上回りました。

【改善方策等】

- 自分の考えを持ち、それを適切に表現することに課題があります。日頃の授業において、自分の考えをただ書くのではなく、その根拠や理由となることをきちんと踏まえて表現できるように練習することで、条件を満たして自分の考えを表現できるようになると考えられます。また、無解答の人数が20人ほどいたので、普段の授業の自分の考えを書く場面で、個別支援やグループ活動の機能を活かして、自力できちんと活動ができるようにサポートしていく必要があります。
- 「話し合いでの発言について説明したものとして適切なものを選択する」問題では、普段の授業での話し合い活動の経験が好影響を与えていると考えられます。引き続き活動を行い、話し合い活動の更なる充実を図っていきます。

数 学



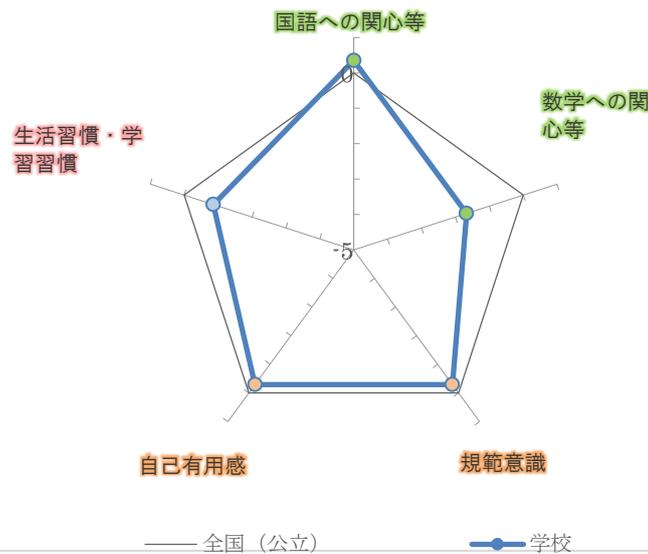
【特徴と現状】

- 全体的に全国平均と比較して正答率が下回っています。
- 数と式の多項式の計算の正答率は県平均を上回りました。
- 「数量の関係を一元一次方程式で表す」問題の正答率は50%にとどまり全国平均を下回りました。自分で数量関係を等式で表すことに課題があります。
- 記述式の問題では、正答率が低いこともありましたが、無解答が50%近くあり、自分の力で説明することについて課題があります。
- 「資料の活用」について正答率が低いので、1年生の学習内容を計画的に復習し、定着させることに課題があります。

【改善方策等】

- 1・2年生で学習した内容の正答率が50%台のものが多かったので、2学年で授業時や補習等で復習を行い、1学年の既習事項の定着を図ります。
- 記述式問題の対策として、「○○は△△である。理由は□□だからです。」という形でわかりやすく相手に説明できるように、普段の授業内において表現力の向上、記述力の向上に努めます。まずは「口頭で説明できる」ことを小ステップとして、それをうまく記述に繋がるようにしていきます。また、問題解決までの筋道を丁寧に確認し、理解したことを互いに説明し合ったり、ノートや黒板、タブレット端末等で表現したりすることができるように、継続した指導を心がけていきます。

(3) 生徒質問紙の結果及び分析



【特徴と現状】

- 「朝食を毎日食べますか」という質問に対して、約83%の生徒が食べていると回答しており、全国平均を上回っていました。
- 「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」で「携帯電話・スマートフォンやコンピュータは持っているが、約束はない」と回答した生徒の割合が全国平均を大きく上回っていました。何かしらの約束をつくった上で使わせるのが望ましいと思われます。
- 「1日あたりのテレビゲームの時間が4時間以上」と回答した生徒が約33%おり、全国平均の2倍近い値となっていました。普段(月～金曜日)については、1～2時間以内が望ましいと思われます。
- 「将来の夢や目標を持っていますか」という質問に対して「はい」と回答した生徒の割合は全国平均を上回りました。目標を持って生活している生徒が多い傾向にあります。

3 まとめ

- 全体的に学力を向上させていくことが求められます。特に記述式や自分の考えを持ち、それを適切に表現する力の向上が課題となっています。
- 「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」に対する回答を見ると、「1時間以上、2時間より少ない」と「1時間より少ない」の割合が合計30%となっていました。学校が休みの日に記述式などの問題に取り組む時間が少しでも確保できれば必ず学力向上に繋がるので、授業等で週末に取り組める問題等を提示していく必要があります。
- 「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」に対する回答を見ると、「はい」と答えた割合が50%近くいました。家庭や学校、地域の中できちんと育てている生徒が多いということ、大人の姿を見て育てているからだと思われます。これからも家庭・学校・地域が協力して目標を持って成長できる子が1人でも多くなるように、子ども達の学力向上を図っていくことが求められます。引き続き、各ご家庭でのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。